

慢性腎臓病（CKD）とは ①か②のどちらかが3か月以上続くこと

① 尿検査他 たんぱく尿がある（正常は（－）です）

（健診では調べていませんがアルブミン尿という小さい分子のたんぱく尿の存在が重要とされています。日本の保険診療では、アルブミン尿測定は、糖尿病または糖尿病性腎症の患者さんに3ヶ月に1回認められています。）

②血液検査 e-GFR (ml/分/1.73m²) 60 未満

この値は「糸球体濾過量」といって、「血清クレアチニン」という検査値から、年齢性別で推算されて出てきた数値です。（健診結果が血清クレアチニンのみの人は、別紙推算早見表でe-GFRを確認してみましょう。）
e-GFRとは：片方の腎臓に100万個ずつある糸球体で、血液をろ過して正しい尿をつくる仕事の力を100として、どのぐらいあるかということを示しています。



①か②のどちらかの異常がある場合は腎機能の低下が疑われます。